

二階堂真登（にかいどう・まこと）

北星学園大学 QB 4年

先発QBとして2シーズン目だった昨季のリーグ戦。チーム成績は2勝3敗の4位に終わったが、自慢の高速パスを投げまくった。5試合のパス獲得距離は937ヤードで堂々のリーグトップ。12TDを量産し、WR村屋隆侑（当時4年）をリーディングレシーバーに導いた。忘れられないのがパスの投げ合いとなった北海学園大戦。第4Q残り4分44秒で村屋に9ヤードTDパスを決めて20-19と逆転した後のポイント・アフター・タッチダウン。「守備ラインの圧力でプレーが崩れたが、ラッシュをかいくぐり、アイコンタクトで投げた」とノーマークのWR竹田凌河（当時3年）にパスを決めた。フィールドの指揮官の冷静さを見せつけたプレーだった。

室蘭栄高までサッカー一筋だったが、高校のサッカー部の先輩がアメフト部のスタッフをしていた縁と、新しいスポーツへの好奇心で入部した。「格好が良いポジ



ション。投げるのも好きだった」と1年生からQB。地肩の強さを生かしたスローイング、フィールドの把握、相手守備に応じた臨機応変さなどを磨いた。1年生のオフには、元Xリーグ・オービックコーチの新生剛士氏が主宰する「QB道場」の千葉合宿にも参加し、「関東の選手から刺激を受けた」とどん欲にノウハウを吸収した。2年生で845ヤードを投げ、6TD、昨季は「村屋先輩に頼ることも多かったが、持てる力は全部出した」と手応え十分のシーズンとなった。そして、オフェンスリーダー

として迎える今季。「自分がチームをリードする。筋トレで体重を4キロ増やし、けがをしない体づくりもした」と168センチ、85キロの鍛えこんだ体で決意する。Bブロックは北海学園大、室蘭工業大とリーグ戦を戦う。因縁の北海学園大とは初戦の第2節（10月18日）に顔を合わせる。「パスプロテクションが崩れた時に、いかに判断してパスを通せるかでQBの能力が決まる」と、1部リーグで唯一の4年生QBが自信を見せた。

【プロフィール】

1998年9月18日、室蘭生まれ。社会福祉学部福祉臨床学科。「NFL選手としては背が低いけど、冷静な判断力とクイックネスがある」とシアトル・シーホークスのQBラッセル・ウィルソンを目標に上げる。